

令和7年度 第3回 大阪市立粉浜幼稚園 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立粉浜幼稚園

日時	令和8年3月19日(木) 16時～17時	
場所	大阪市立粉浜幼稚園 みんなの部屋	
出席者	委員など	委員など8名
	校園	園長・主任
	区役所	教育担当1名
議題	(1)「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」について概ね理解を得られた。	○挨拶の取組については、最終評価で保護者アンケートが高評価だった。挨拶当番・子どもと保護者との降園時の挨拶当番・その場に応じた挨拶を子どもと教師が考えて取り組んだことなどが子どもの育ちにつながり理解・評価された。子どもが喜んで当番活動をし、大きな声で挨拶しようとするきっかけの場となったと感じた。 ○一人一人を大切に教育してもらった。最初は自分の思いが伝えられなかった子どもが、教師が思いを汲み取り橋渡しをしてくれたことで、自分で相手に思いを伝えられるようになった。 参観時、子どもに譲り合いの精神や社会性が育まれていると感じた。園では、けんかや困った経験も大切な学びの場になっている。みんなで考え合うことで、4・5歳児の育ち合いになっている。今後も、一人一人を大切に教育を推進していきたい。 ○小規模園だが、近隣園や学校、地域などとの交流を大切に工夫してきたことが、子どもたちにあこがれや意欲・安心感を育むことにつながっていると感じる。これまで以上に、子どもたちが様々な方と関わりを広げ、心豊かに育っていくように連携を深め、取組内容を工夫していく。 ○1年間を通した園の研究や『すみのえ運動遊びプログラム事業』の成果から、子どもたちが喜んで体を動かして遊び、様々に挑戦する姿が見られた。今後も、区役所・企業と連携し、教師と企業のノウハウでブラッシュアップし、幼児期ならではの育ちとして、「体を動かして遊ぶことが好きになり、多様な動きが身に付いていく」ようにしていきたい。 ○働き方改革もあるが、子どもたちのために学ぼうとする教師の熱意を感じた。 ○今後も、園・家庭・地域が一体となって進んでいきたい。
協議資料	・運営に関する計画・自己評価(最終評価) ・運営に関する計画アンケート結果	
備考	傍聴者 [0]名	

